

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 各務原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 生活交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持計画)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
岐阜乗合自動車株式会社	ふれあいバス蘇原線	平成27年10月に再編した新路線で、パターンダイヤを採用。乗降調査からも満足度が一番高い路線であり、維持継続していく。	A 計画どおり事業は適切に実施	【目標値】 乗車人数が5人/便以上、25,500人/年以上 【結果】 乗車人数 8.4人/便、52,646人/年	・利用者も増加傾向で、満足度も高いため、現状維持を目指す。 ・継続的に利用促進を実施する。 ・鉄道との乗り継ぎについて、懇談会等で意見、情報を行う一方で、利用者が少ない便が存在。
岐阜乗合自動車株式会社	ふれあいバス東西線	平成27年10月に再編した新路線で、各地区ごとの路線と異なり、大きく市を東西に伸びる路線。 昨年度の調査を踏まえ、今年度追加調査を実施し、効果的なダイヤを検討中	A 計画どおり事業は適切に実施	【目標値】 乗車人数が5人/便以上、10,000人/年以上 【結果】 乗車人数 7.0人/便 17,309人/年	・利用者も増加傾向である。 ・ニーズ把握の調査や懇談会を実施し、平成31年に同便を廃止し、他路線への車両再配置を計画中

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	各務原市地域公共交通会議
-------	--------------

評価対象事業名:	生活交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持計画)
----------	--------------------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市総合計画において“笑顔があふれる元気なまち”を将来都市像として掲げ、全市民、企業、行政が独創的な施策を戦略的に展開することで、人々や産業、地域が心の底から夢が湧くような都市の実現を目指している。</p> <p>公共交通については、総合計画と整合性を保ちつつ、公共交通網形成計画を策定している。</p> <p>形成計画において、鉄道やバスを利用して、皆が健康で、安心かつ快適に暮らせるまちの実現を目指しており、市民、交通事業者、行政が三位一体となり、公共交通ネットワークを育んでいく必要がある。</p>
-----------------------------	---